

開催日時 平成18年11月22日(水) 午後6時30分～8時25分

会場 幸区役所5階第1会議室

参加委員

専門部会B委員 今井淑子部会長、松世三重子副部会長、小保方健次、酒井道子、
庄司佳子、菅野勝之、成田信子、根本健、深瀬和則
(欠席委員：小島春男)

専門部会A委員 葉山直次

事務局(総務企画課) 高橋主幹、北谷主査、上松職員、吉田職員

(地域振興課) 大場課長

(こども総合支援担当) 吉田主幹

(株)CSK 福田研究員

(以上 17名)

司会進行：今井部会長

開 会

本会議の情報公開に関する委員の了承。

配布資料、次第の確認。

1. 報告事項

松世副部会長が配布資料に基づき、第2回企画運営部会(11月2日開催)の結果を以下の5項目について報告した。

- (1) 第2回区民会議審議結果にもとづく幸区区民会議運営要領・条文の確認について
- (2) 区民会議に関する区民アンケート内容の検討について
- (3) 第2回区民会議審議結果を部会でどのように受け止めるか。また、今後の専門部会の進め方について
- (4) 第3回幸区区民会議の日程、内容について
- (5) その他

「部会への意見文書」の取り扱いについて

部会での地方自治法の配布について

〔報告内容に関する意見・質問〕

菅野 前回の専門部会の際、第2回全体会で地方自治法を配布してくれるようお願いした。税金の執行は市長であり、その使い方の議決は議会が行う。区民会議の意見を重視してくれとは言えるが、区民会議に予算を決定する権限はない。その点を確認するために地方自治法の配布を希望したが、財政問題は話題に出ていないので配らなくてもよい。

企画部会では、希望者だけに配布、あるいは、財政に関する部分だけを配布するという意見が出たが、それは反対だ。第1回の部会で配布された市民活動の定義のように、行政は都合のよい部分だけを配布し、混乱させる。市民団体の定義は配布された4項目だけではないということが、配布されなかった箇所に書いてあった。配布する

なら、全て配布する。事務局の好みだけで都合のよい部分だけを配布されては混乱が起きる。

今井 企画部会の意見は、全委員に読めとは強制できないので、希望者に配布するという緩やかな感じだった。

2. 議題

(1) 「魅力づくりと市民活動の推進について」第2回幸区民会議を踏まえた検討

今井 前回まで検討した内容について、具体的な取り組み内容を検討したい。全体会でも、概念的、抽象的な話で終わっていて伝わりにくいという意見があった。部会として取り組む方法を方向づけできるよい。

松世 夢コンサートの実行委員会で、区民会議の報告をした。出張コンサートということで来年度は1回実施する。日吉地区はまだ開拓していないので、日吉地区でやってみようという意見だった。天候のよい日に、野外コンサートを試みたい。

野外にふさわしい、打楽器の団体がいる。交渉はまだしていない。夢見ヶ崎公園で7月27日(金)の開催を検討したが、当日は選挙がありそう。アーティストがOKになれば、夢見ヶ崎公園で実現したい。夏なので夕方から夜にかけて開催したい。可能なら、他の団体にもコラボレーションをお願いし、ネットワークを広げたい。

庄司 日吉地区の環境共生ネットワークでも検討した。是非コンサートをしたいという声が多かった。子育て関係のグループがいるので、子どもが参加できるとよい。実現の可能性は高いし、地元でも是非やりたいという意向がある。

松世 夏休みを利用し、たくさんの人に来てほしい。

深瀬 この時期は土日にお祭りがあるのではないか。

小保方 昭友会という会があり、7月下旬にお祭りをする。

庄司 10月28日、矢上川流域エコツアーを実施した。環境共生ネットワークの団体とその他の活動団体の活動拠点を歩いた。地域遺産や自然環境等の宝物探しを親子で実施した。子どもが参加するので、ゲーム感覚を取り入れた。小倉わんぱく広場、夢見ヶ崎プレイパークをつくる会、夢見ヶ崎動物園の飼育員、加瀬山の会、矢上川で遊ぶ会等の紹介をした。焼きマシュマロづくり、どんぐり拾い、虫とりなどをした。団体の活動や資源を知らない人が多かった。大人と子どもで40数名の参加があった。自然を守る活動は大切であり、是非、協力したいという声が出た。

大人も子どもも満足してくれた。地域に宝物があることがよくわかったという感想だった。知り合う、連携する、知らせ合う、伝えていくことがまだ不十分だと痛感した。今回は、ネットワークに入っていない人にも活動紹介をしてもらった。今後はそれらの人とも連携を進めていきたい。

今井 7月下旬のコンサートに何ができるか。ネットワークをつくるきっかけづくりにしたい。目標をひとつ定めたい。

庄司 環境共生ネットワークの活動を伝えることとコンサートをコラボレーションすることで、参加者に伝わるものが多い。活動紹介と口で言うだけでなく、具体的な活動内容を物で見せる。

松世 パネルで活動を紹介してもよい。

庄司 時間帯を前倒しして開催し、適当な時間にコンサートをスタートする。

今井 実行委員会などは必要か。どういう団体がどういう連携をできるか。

松世 実行委員会はいらない。夢コンサートの実行委員と他の団体の人が、何ができるかを考える。実行委員形式にすると負担になるし、問題も起こる。

庄司 夢コンサートをきっかけにネットワークを広げたい。実行委員の人と接点を持つことが一番よい。

根本 今回は最初のとっかかりであり、実行委員会をつくり、多数の団体を組み込むと難しくなる。コンサートをメインにして、多様な団体に来てもらうことで触れ合いが生まれる。今後の参加にもつながるし、知らないことを話し合うことで理解が深まる。

一回目なので、きちんとしたものをつくってしまうと、かえって難しい。交流の場として開催する。二回目以後は実行委員会をつくることも必要かも知れないが、まずは、実行委員はなくてよい。

今井 夢コンサートを中心に考え、そこに来てもらい、交流を深めていく。実行委員はつくない。

今後は、夢コンサートの検討状況を部会で、そのつど説明をしてもらい、何か協力できることは協力する。7月下旬のころに、また交流の場ができるとうい。

菅野 あまり選挙は考えなくてよいのではないか。まちづくり推進委員会でも、選挙の前の週にワークショップを開催する。みんなが選挙に関わっているわけではないから、一般の区民は参加可能だ。

深瀬 日吉商店街連合会で部会の検討内容を報告した。来年はやらないと説明したが、7月に開催予定とのこと。内容は未定だが、一緒にやろうと報告してよいか。日にちが近づいてくると、日吉商連のメンバーが話し合いの場に参加する必要もあるのか。

今井 商店街の皆さんがどう関わるかは、まだわからない。今後の検討の中で出てくる。

松世 催し物をやるなど、いろいろな参加がある。

庄司 日吉地区の環境共生といっても、いろいろある。環境の話は常時取り組んでいるので、そちらにも参加してもらえるとよい。

今井 すぐ協力をあおいで連携できることがある。コミュニティサイトに商店街のイベントや売り出しを掲載してほしいという要望がある。掲載の仕方について、講習会を企画しているので参加してほしい。ファックスをもらい、こちらで入力することも可能だが、自分たちで最新情報を掲載してほしい。サイト上で各団体がネットワークを組み情報交換も可能だ。次回資料を持ってくる。

2月下旬に、4日間3時間のシニアITリーダー養成講座を開催する。市民活動団体の代表者、地域活動の代表者も参加可能。インターネットの見方やメールの出し方の学習と、コミュニティサイトの紹介をするので、各団体の代表に出てほしい。

委員同士がどういう活動をしているか、お互いに見えないので、資料を持ち寄り紹介したい。ネットワークを組もうといっても、どこと組んでいいかわからない。次回、各委員が資料を持ち寄り、5分程度で紹介し合ってはどうか。

菅野 各団体がやっていることはもちろん知りたいが、それが区民会議の主要ではない。区民会議ができる前に区政推進会議があり、子どもの環境、安全の問題に取り組んだ。会議の中で、区担当者が、まちづくり推進会議の委員長が委員として参加しているのだから、子どもの安全に関する方針を出せと発言した。その後、子どもの安全問題の協議会ができたが、行政から菅野さんの提案を利用したという報告を受けた。僕たち

が提案をし、関係ないところで実現してくれる。それでも十分だ。

災害弱者についても、主体は町内会やボランティアだ。まちづくり推進委員会ですることは、プライバシーの問題や介護の内容の問題。実現に関わらなくても、意見や提案を出すことで協力できればよい。

今井 意見をもらうことは貴重なことであり、それももちろんやる。個人で参加している人もいるので、日ごろの自己紹介の場があってもよい。次回、各委員の活動を紹介する場を設けたい。

(2) 次回テーマの進め方について

意見交換を行った。

今井 区役所は、夢コンサートにどの程度、関わっているのか。加瀬山での取り組みなどはあるのか。

松世 夢コンサートの事務局が地域振興課だ。加瀬山の動物たちが驚いてはいけなくて、動物園に許可をとらないといけない。

成田 皆さんは団体を持っているので検討事項があるが、私は個人参加なので、資料の集め方もわからない。形として納得できる説明ができるかどうかは微妙だ。専門部会の前に勉強したり、事務局と相談したりできるといい。この場に来て資料をもらい、内容を知るのでは皆さんに申し訳ない。きちんと話をするには、事前に勉強して出席したい。

個人なので全体を見ることができない。他の地域ではこういうことをやっている、子育てではこういうことをやっているとわかれば、事前に調整できるし、勉強する機会があれば先に知りたいことを質問し、その上で、より進めるための意見が言える。

皆さんはすでに何十年という経験を積んでおり、自分はこの場に座るのが申し訳ない。

菅野 まちづくり推進委員会の委員でも、最初はみんな言いたいことを言うので、課題を決めるだけで1年半かかる。

成田 テーマを決め、自分で方向性を探ることもできるが、専門的な意見を聞きながら発展的な意見が出せるなら、勉強を先にできるとありがたい。

今井 先にとというのは、部会の前に勉強会なりを開くということか。

成田 個人的に聞けばいいのだろうが、どこに聞けばいいかわからない。

小保方 こういうイベントがあるよ、ということが先にわかればいいのではないか。私たちの団体でもこういう会議があるから顔を出してくれとお願いされるが、会議が終わってしまうと次の会議まで一ヶ月まるまる会えない。前もって、どういうイベントがあるかわかるといい。先日も、イベントに来てくれと言われたが、一週間もなく断った。開催が決まった時点で教えてもらえると助かる。回覧をまわしても間に合わない。

今井 イベントがあれば、なるべく早く広報しよう。

自分が知りたいテーマは特化することがある。それを、どの課の誰に聞けばいいのかは、役所に電話をすれば教えてくれる。これを知りたいということがあると思う。それを伝えれば、こうすればいいと教えてくれる。

酒井 一人の目で見ると狭くなるので、広い目で見ると、さまざまな方向性が見えると思う。

今井 イベントなどにも誘われたら、行ってみる。

庄司 部会での検討資料についても、事務局と相談して出していきたいということだろう。それは私も必要かと思うし、それが区民会議で説明するときの具体的な展開につながると思う。

松世 12月21日の12:10から、夢コンサートを区役所で開催するので、是非見てください。

今井 毎月第2土曜日の午後1時から4時に、市民活動団体の資金を得る場としてフリーマーケットを河原町団地の2号館で開催している。出店料は500円。資金を集めたい活動団体は参加してほしい。

若いボランティアの育成を毎月実施している。中学生、高校生、専門学校生、大学生のボランティアを育成する。参加する子どもを募集しているので紹介してください。子どもたちが集まった段階で、どういう活動をしていくかを考えていきたい。若いグループを育て、河原町団地の活性化に貢献できるとよいと思う。

庄司 環境共生ネットワークで、関心のある分野の勉強会を開催している。12月19日の午前中に日吉分館でエコミュージアムの講座を開催する。会場が狭いので、事前に申し込みをしてほしい。今後も継続して勉強会を続ける。

今井 幸市民協働プラザの紙媒体の新聞が、12月1日に創刊される。区役所に置くのと、回覧でまわす。次回は3月1日に出す予定。クイズに答え、全問正解者にはオリジナルストラップが当たる。インターネットができない人、さいわいコミュニティサイトが見られない人のための、紙媒体のツールとする。

部会の進め方について、検討テーマについて区役所から説明してもらえば、そういう場を設けたい。委員は、お知らせする資料があれば持ってくる。知りたいことがあれば、総務企画課を通して担当課を紹介してもらい、勉強する。

酒井 私は特に何かの団体の代表ではないので、皆さんに伝える具体的なことはない。自分のテーマについて、どう皆さんに理解してもらい、どう検討したらいいのか、この会議の意味合いが、まだあまり理解できていない気がする。皆さんの意見を聞きながら、おいおい整理していきたい。

3. その他

(1) 次回テーマに関する区の子育て支援の取り組みについて

こども総合支援担当吉田主幹が配布資料を説明し、意見交換を行った。

菅野 「こども総合支援ネットワーク会議」部会構成図の部会1と部会3の共通する部分に、小学校と相談・保護センターは入っているが、中学校は入っていないのか。事務局の中で、「幼稚園、小学校、中学校との連携強化」と入っている。区民が入ったところには中学校は入らなくていいと思っているのか。

平成15年に、国の次世代育成支援推進法ができたが、その内容を市なり区では検討したことがあるか。全般的で大変難しい内容だ。行政がどこまでやるかを明確にすることで、市民が補うべきことが明確になる。

吉田(事務局) 四角の囲みの中に保護司会と高校とある。そこに中学校を入れてほしい。

希望があれば、部会の1から3のどこにでも入れることになっている。

菅野 少子化の法律は、国の法律で大変難しい。あとで正式な名称をお知らせする。

今井 幸区内の子育て関連の情報誌として7つの団体が掲載されているが、この情報はす

べて区役所にあるのか。電子媒体はあるのか。

吉田（事務局） 区役所の4階や市民館にある。紙ベースの情報で電子媒体はない。

今井 こういう情報を、取りにいけない人のためにサイトで見られるようにしたいと思っているが、難しいのか。

菅野 むずかしい、ネットワークを提案したが、できてない。

今井 各団体で発行しており、まとめて掲載するのは難しいのか。

成田 支援課がとりまとめ、トップの人たちで話し合う場合はあるか。

吉田（事務局） こういう情報がありますということを知らせることはできるが、それをまとめることは不定期なので、できない。

今井 サイトに載せていいか許可も私たちでとるのか。

吉田（事務局） 発行元にそれぞれに許可をとってほしい。

高橋（事務局） 吉田主幹には今後も出席してもらおう。こういうテーマで説明してほしいということがあれば、言ってほしい。相談しながら検討を進めていきたい。

（2）アンケート調査の実施作業の状況について

アンケート調査の内容について、事務局から説明し意見交換を行った。

北谷（事務局） 企画委員会でアンケートの内容について検討した。12月5日に各戸配布し、平成19年1月9日を締め切りとする。回答者に抽選で100人に記念品を送る。

今井 記念品とは何か。

北谷（事務局） 今後検討し、決定する。金品的なものではなく、市や区の情報を伝えられるものを考えている。

菅野 まちづくり推進委員会では、反対意見が多い。年に3~4回調査をし、子どもにお菓子をあげるのに年間5~6万円かかる。反対意見があることも了承した上で、記念品を出してほしい。

北谷（事務局） 幸区は他区に先駆けてアンケートを実施する。昨年度は緑化推進ということで、花苗を配布した。賛否あるが、区の魅力づくりという点で理解していただきたい。

成田 回答結果は公表するのか。

北谷（事務局） 区民会議での報告と、市政だよりなどを活用した結果報告をする。

（3）今後の日程

第3回全体会 1月25日（木）の夜間を想定。企画部会で最終決定する。

第3回企画部会は12月13日（水）開催予定。

第4回専門部会Bは12月14日（木） 18:30から開催 区役所第2会議室

次回の内容

- ・参加委員の活動紹介 資料は事務局がコピーする。前日までに事務局に資料を送る。
- ・次回テーマに関する検討 提案委員と相談して資料の内容は決定する。

閉 会